

とだ議会だより



9月定例会

No.188

2015年(平成27年)11月1日

初 一般会計 500 億円の大台を超える 26 年度決算を認定 ▶ 2

「議員の派遣」で活発な **全会派** 討論 ▶ 6

委員会の審査から (常任委員会) ▶ 8

そとがききたい 13 人の議員が一般質問 ▶ 11

委員会視察レポート (特別委員会) ▶ 18

シルバースポーツ大会 (スポーツセンター)

▶ ホームページ

戸田市議会

検索



<http://www2.city.toda.saitama.jp/gikai/>

26年度決算を認定



※千円単位は切り捨て

		平成 26 年度	前年度比
一般会計	歳入 (1年間の収入)	521億7294万円	5.6%増
	歳出 (1年間の支出)	503億9159万円	6.1%増
特別会計	歳入	236億6067万円	13.4%減
	歳出	226億4853万円	11.5%減

(注) 特別会計は 13 会計の合計額

水道事業会計

収益的収入	24億6153万円
収益的支出	23億7514万円
資本的収入	3825万円
資本的支出	7億9514万円

下水道事業会計

収益的収入	27億6318万円
収益的支出	26億1379万円
資本的収入	7億9220万円
資本的支出	14億4992万円

(注) 下水道事業会計は平成 26 年度から公営企業会計

初 一般会計500億円の大台を超える

歳入は市債が 歳出は工事請負費が

26年度一般会計決算
平成26年度、一般会計決算が初めて500億円を超えました。(3ページ参照)
歳入について、前年度決算額との比較では、約27億5千万円の増。増収となったものは、市債が約32億円、市税は歳入全体の約53%を占めており、約5億円の増。減収となった主なものは、繰入金及び繰越金が、ともに約7億6千万円。

主な議案

歳出について、前年度との比較では、約29億円の増。歳出における目的別構成割合で見ると、民生費が約47%、総務費が13%、土木費が12%となっています。支出のうち、工事請負費については、こども国再整備工事、庁舎耐震改修等建築工事、上戸田福祉センター再整備工事等で、その合計額は約64億円、前年度と比較すると約27億円の増。また、公有財産購入費は、学童保育事業用地をはじめとして、市道拡幅整備事業用地や、川岸地区まちづくり用地の土地購入費など合計約5億8千

万円となっており、前年度と比較すると、約5億円の大幅増となっています。
歳入歳出差引残額、約17億8千万円は、全額、平成27年度に繰り越しました。
※26年度一般会計決算に対する討論は、4ページに掲載しています。

26年度 健全化判断比率

比率名	26年度	25年度
実質赤字比率	(11.94)	(11.99)
連結実質赤字比率	(16.94)	(16.99)
実質公債費比率	3.6 (25.0)	3.8 (25.0)
将来負担比率	57.1 (350.0)	44.7 (350.0)

(注) ①() は早期健全化基準*を示す。
②赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」表示となります。

◆健全化判断比率とは
自治体の財政状況を早期に把握し、破たんを防ぐことをねらいとして制定されたものです。

*早期健全化基準…財政状況が悪化した場合において、自主的・計画的に財政の健全化を図るべき基準として定められた数値です。

平成27年
9月
定例会
8月28日～
9月29日

9月定例会は8月28日から9月29日までの33日間の会期で開かれ、提出された46件の決算・議案等を、いずれも認定・可決・承認しました。本会議では、1決算・5議案に対し延べ13人の議員が質疑をし、決算・議案及び請願、各1件に対し、延べ5人の議員が討論を行いました。

また、中国開封市への議員派遣についての会派(5会派)が討論を行いました。3日間にわたる一般質問では、13人の議員が活発な論戦を展開しました。また、最終日には、議員提出議案として意見書1件が提案され、可決しました。



「平成26年度決算監査報告」

鶴森代表監査委員

一般会計について、実質収支額は約15億9114万円の黒字となっている。歳入は、前年度と比べ約27億4854万円の増。歳入の根幹である市税については、市たばこ税以外の全てにおいて前年度と比べて増となっている。一方、歳出は、前年度と比べて約28億9797万円の増。支出増となった主なものは、民生費、消防費、教育費が挙げられる。

また、中国開封市への議員派遣についての会派(5会派)が討論を行いました。3日間にわたる一般質問では、13人の議員が活発な論戦を展開しました。また、最終日には、議員提出議案として意見書1件が提案され、可決しました。

特別会計については、実質収支額は約7億107万円の黒字となっている。
水道事業会計については、収益的収支の純利益は前年度と比べて約2億622万円の減。資本的収支については約7億5688万円の不足となっており、損益勘定留保資金、減債

積立金などで補てんされている。水道事業の経営指標でもある有収率は92.3%で前年度と比較して1.6ポイント下がっているが、いまだ高い水準を維持している。
下水道事業会計について、収益的収支の純利益が約1億4938万円、計上されている。資本的収支については約6億5771万円の不足となっており、損益勘定留保資金などで補てんされている。経営指標については、年度末における処理区域面積は前年度と比較して0.9%、水洗化人口は3.2%の増加となっており、水洗化普及率は87.2%と増加傾向となっている。下水道事業会計においては、企業債未償還残高に係る支払利息につ

主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート



花井伸子 議員

問題は単年度に突出している建設事業費

戸田市の財政力指数は平成26年度1・189で、国の定める標準的水準を行うのに必要な収入を19%程度上回る収入がある。また、



▲本年9月1日に開館した上戸田地域交流センター（愛称：あいパル）

戸田市の平成26年度の標準財政規模は272億7千万円と、基準財政需要額を約100億円以上も上回り、財源の余裕を示す経常一般財源比率も102・758と大変高く、歳入構造が大変弾力的であることを示している。市は財政力指数が高いことイコール財政が

豊かとは言えない、競艇収入も大きく減り、扶助費がどんどん増え、財政が大変と、事実と相違した情報を広く市民にまで提供している。委員会審査の中で、扶助費が増えたことが経常収支比率を押し上げる第一の要因であるとの説明だったが、その中身を見ると、人件費約23%、物件費約20%で、扶助費は約14%である。戸田市の人口の伸びは著しく10年前と比較すると約1万7千人も増加しており、扶助費が増えるのは当然である。また、扶助費を大きく押し上げた要因は平成21年に始まった子ども手当であり、扶助費の増額は全国どこの自治体も同様である。問題は単年度に突出している建設事業費で、市の債務を一気に増やすとともに、多額の財政調整基金取り崩しと、さらなる基金積み立てとなり、26年度の財政運営に大きく影響して



細田昌孝 議員

扶助費を中心に社会保障障費は大きく増加

いる。今年度から敬老祝金が一気に減額されるなど、多数の単独事業が見直された。市のさまざまな単独事業は、市民生活を支えるため、国の不十分な社会保障の穴埋めのために、調整弁として築かれてきた事業など、戸田市独自の歴史もあり、一つ一つの事業効果を丁寧に分析する必要がある。戸田市の平成26年度の財政は引き続き豊かな財政力があることが示されたが、その財政運営はバランスを欠くとともに、「なるほど！わかった！戸田市の財政」の財政分析は必要以上に財政危機をあおり、誤解を与えるものである。市民へ誤解を与える情報提供は早急に正すよう求め反対討論とする。

反対討論においては、人件費、物件費の構成割合が大きいことから、経常収支比率を押し上げる要因は扶助費ではないとの見解であるが、平成16年度、経常収支比率における扶助費は約7%、26年度、約14%と、大きく増加している。また、人件費と物件費の合計は、平成16年度の約45%から26年度は約42%に減少している。歳出においても普通会計における扶助費は、平成16年度の約58億9千万円から26年度は約130億1千万円となり、扶助費を中心に社会保障費は大きく増加している。一方で人件費及び物件費の合計は平成16年度、26年度、ほぼ同程度であり、この間、芦原小学校、駅前行政センター等の施設の増加があり、また、人口や予算規模も増加している状況を考慮すると、人件費及び物件費は適正な範囲に抑制されていると言える。

このように、経常収支比率を押し上げる要因は、現在の構成割合ではなく、過去の数値と比較してとらえる必要がある。また、建設事業に必要な財源については、国庫補助金や地方債を活用するとともに、平成19年度から積み立てを開始した公共施設等整備基金を充当することで一般財源負担を軽減している。建設事業が集中したとの指摘があったが、庁舎の耐震化や老朽化に伴う施設の統合・複合化を含む再整備であり、必要な事業の実施に際し、公共施設等整備基金の活用による財政負担の平準化を図って対応したものである。また、反対討論では、財政力指数の高さから、本市の財政的な優位さを主張しているが、本市と同程度の人口でも地方交付税が100億円、200億円を超える市があり、その結果、財源の逆転現象が生じ

ることも少なくない。実際に財政運営を行う地方交付税交付後の財源の状況を含めて分析することも大切な視点である。

さらに、国庫補助金の普通交付税化の流れに加え、地方法人税の創設等も踏まえれば、財政力指数の高さに安住することなく、さまざまな財政指標を、より客観的に捉え、戸田市の財政状況に対する正しい認識を持ちながら山積する課題に向き合っていくべきである。財政運営は適切と考え賛成する。

《結果》 認定(20対3)

手数料条例の一部改正

マイナンバー法の施行、及び住民基本台帳法の改正に伴い、通知カード及び個人番号カードの再交付手数料の規定を新たに制定し、住民基本台帳カ



▲平成28年4月リニューアルオープン(北戸田駅北自転車駐車場)

国民健康保険税条例の一部改正

国民健康保険税の課税限度額については平成26年度末に条例改正を行い、27年度より限

下の交付手数料を削除するものです。

《結果》 原案可決(20対3)

※委員会審査では、マイナンバー制度及びカードの再交付について意見が分かれませんでした。

度額を4万円引き上げ、77万円としたところであります。しかしながら、国の法定限度額は平成26年度と平成27年度にそれぞれ4万円ずつ引き上げられ、現在85万円となっており、本市の課税限度額は8万円の差が生じているところです。さらに国では今後法定限度額の上昇を伴う税制改正が見込まれます。以上のことから、厳しい国民健康保険財政状況及び市民への影響を考慮しつ

つ、国民健康保険の安定的な運営及び税負担の公平性を確保するため、賦課限度額総額を81万円に改めるものとす。

《結果》 原案可決(20対3)

※委員会審査では、課税限度額の引き上げについて意見が分かれませんでした。

自転車駐車場改修等工事請負契約

北戸田駅北自転車駐車場のラック入れ替え及び建屋の建設に伴う改修工事です。契約金額は約1億8千万円、契約者は三ツ和総合建設業協同組合、平成28年3月18日までの工事で、同年4月、供用開始予定です。

質疑

収容台数の増減

A 本工事において鉄骨造り平屋建ての自

転車駐車場を新設することで、北戸田駅北自転車駐車場の収容台数は1821台となり、旧自転車駐車場と比較して405台の増加が見込まれる。全8カ所の市営自転車駐車場の収容台数は1万225台となり、旧自転車駐車場と比較して、578台の減少が見込まれる。この減少については、民間事業者において約1500台収納の自転車駐車場が新規に整備されることから、市営自転車駐車場においては、スライドラックの採用など利用者の利便性の向上を図った。なお、全8カ所の自転車駐車場の改修等工事の請負契約金額の総額は、約6億2千万円。

《結果》 原案可決(20対3)

※委員会審査では、最低制限価格について意見が分かれませんでした。

質疑

何社の応募があり、どの点が評価され選定されたのか。

A 6社から応募申請があり、今回の指定管理者候補者については、戸田市の自転車駐車場の現状をしっかりと把握しており、主に市民へのサービス提供、入退場ゲートシステム、近隣市での運営実績の評価において、全ての審査委員から高く評価され選定された。

指定管理者の指定

自転車駐車場の指定管理者として日本コンピュータ・ダイナミクス株式会社を指定するもので、指定管理期間は平成27年12月1日から平成38年3月31日までです。



本田哲 議員

土地賃借料や駐車場整備費を市民に負担させることは問題

日本共産党は、今年の3月議会において、多くの市民が利用する埼京線3駅の自転車駐車場は公共性の高い施設であるとして、設備投資を税金で行いながら、その後の運営を指定管理者に任せるという方針には賛同できないことを申し上げた。また、利用料金についても100%の受益者負担とし現状の料金から上限4倍まで引き上げを可能とする条例改正にも反対をしてきた。消費税も物価も上がる中、所得が増えない状況で、利用料金は市民の立場に立って低く抑えるべきと考える。市が指定管理者に求めている「納付金1億円」には、工事費や設計費のほかJRからの土地賃借料や自転車の...

駐車場工事に伴う臨時駐車場整備費などが盛り込まれている。土地賃借料や駐車場整備費に税金を使うことは当然であり、このお金を再び、利用料金として市民に負担をさせることは大いに問題があり、反対する。



石川清明 議員

民間のノウハウを活用したサービス提供や迅速で柔軟な運営を期待

自転車駐車場の指定管理者制度導入に当たっては、指定管理者候補者より、自動ゲート導入による24時間営業やインターネット申請、自転車修理サービス等、民間事業者ならではの、さまざまな新規サービスが提案されているとのこと、利用者の利便性は大きく向上すると考える。また、自転車駐車場は、将来にわたり持続的かつ安定した運営が...

望まれることから、行政改革プランにのっとった受益者負担のもと、適切な利用料金の設定が必要と考える。今回の改修工事に係る経費や市が負担する維持管理費を的確に捉えた上で、現在、指定管理者候補者と利用料金について協議中とのことであり、条例の範囲内で適切な料金設定が行われるものと理解している。平成28年4月1日の自転車駐車場のリニューアルオープンに向け、指定管理者制度導入による民間のノウハウを活用したサービスの提供や迅速で柔軟な運営を期待し賛成する。《結果》原案可決(20対3)

一般会計補正予算

歳出では、公共施設等整備基金積立金の増額、情報セキュリティ対策強化に係る経費及び海外留学奨学事業



望月久晴 議員

目的に合った行程が組まれているのか確認できず

議員の派遣

戸田市議会として、友好都市である中華人民共和国開封市へ議員を派遣することについて、決定を求めているものではないか。

特別会計繰出金の新規計上などです。歳入としては、寄附者からの寄附金及び軽費老人ホーム跡地売り払い収入の新規計上、前年度繰越金などです。《結果》原案可決(20対3) ※委員会審査では、軽費老人ホーム跡地売り払い収入及びIT推進費について意見が分かれました。



平成23年開封市訪問(開封市長との懇談)



山崎雅俊 議員

親書を伝達し、代表団の招聘を図る重要ミッションである

今回の派遣は、開封市に議会代表団を派遣し、戸田市議会として両市の友好交流の懸け橋となるとともに、平成28年10月1日に開催予定である市制施行50...



酒井郁郎 議員

会が挙げた条件を反映したものとない

周年記念式典に向けて、市長及び議長の親書を開封市長並びに人民政府代表に伝達するとともに、改めて開封市より代表団や青少年代表団などの戸田市への招聘を図るといふ、いまだかつてない重要なミッションを背負ったものである。海外友好姉妹都市のどちらを訪問するかということや、参加者や日程は、国の違う、相手のある事業であるといった特殊要因を考えると、予算編成時には詳細を決定できないため、あえて本年にわたってから行き先、人員決定となってしまうことは、やむを得ない。訪問費用について、もし私費で非公式に訪問したとしたり、表敬訪問や会議などが全てプライベートなものとなり、何ら公式代表団としての機能を発揮することができない。礼を失しないよう、議会決議を踏まえた公費での訪問が適切であると...



馬場栄一郎 議員

計画作成には当事者の裁量権が認められていくべき

戸田の会は、以前より友好交流の趣旨に賛同しつつも、議員の海外派遣見直しを掲げている。今回の派遣に対し当会派が挙げた条件は、①派遣人数の削減②事前の日程公表、事後報告の充実等、説明責任を尽くすこと③派遣日程中の、受け入れ側担当者との意見交換の実施の3点を、今後の海外派遣における基本的な枠組みとすることであるが、本件は条件を反映したものとならず、やむなく反対する。

今回の開封市への訪問は4年振りの訪問となる。開封市代表と今後の交流のあり方などについて協議し、相互理解と友好関係をより一層促進したいと考えている。また、来年度の戸田市市制施行50周年に向けて市長と議長の親書を伝達するとともに、開封市の青少年代表団の本市への招聘も目的としている。今回の訪問に当たり、戸田市青少年海外派遣団の帰国報告会に、派遣予定議員全員で参加してきたが、改めて相互理解と友好関係のさらなる促進の必要性を認識した。予算要求から派遣が具体的に決まるまで1年近くもあり、派遣が決定される時点での情勢を鑑み、派遣目的や派遣先を決定していくことには、何の問題もないと考える。計画を立てられても、実際には天候や政治問題、治安などの現地の状況等により変更を強いられ...



石川清明 議員

友好交流で友情の歴史を積み重ねていくべき

議会運営委員会では起立採決の要望を全会派一致して承諾したが、そのときは討論の申し出は全くなかった。にもかかわらず、今回、唐突に反対討論の通告が出された。本来であれば通告を出す前に議会運営委員会を確認すべき事項であった。2番目の反対討論者は議員海外派遣事業の...



平成23年開封市訪問(開封大学の学生との意見交換)

予算計上には賛成の立場をとっていた。今回、反対することは、全く一貫性・整合性がなく、論理が破たんしていると言わざるを得ない。最初の反対討論者は、本来なら目的が先にあり、その上で派遣先、予算、参加議員を決めるべきと言っているが、これまで、さらなる相互理解と友好関係の促進をベースに実施時点の状況を考慮して目的を設定しており、行き...

《結果》決定(16対6)

国際交流事業は大変重要な事業であり、友好交流で友情の歴史を積み重ねていくよう期待し、賛成討論とする。

総務常任委員会

文教・建設常任委員会

健康福祉常任委員会

市民生活常任委員会

委員会の審査から

こんな質問、あんな意見もありました。

議案や決算、請願は、委員会に付託されて、慎重に審査されます。その経過と結果は、9月29日の本会議で各委員長から報告がありました。下記はその概要です。

総務

政策秘書室・総務部・財務部・会計課・行政委員会事務局等

主な議案
監査報告

委員会
の審査から

委員会
の審査から

一般質問

委員会
視察レポート

公共施設予約システムの運用に伴う予約方法の改善を

【26年度決算】

食堂管理費では、現在、休憩室兼会議室となっている市役所の地下食堂スペースの今後の活用について質疑があり、執行部より、公共施設のマネジメントに関する協定を結んでいる埼玉りそな銀行からのアドバイスも踏まえ、食堂以外の形態も含めて検討しているとの説明がありました。

部より、各施設の所管課とも協議をし、公平性の確保と市民サービスの向上という観点から研究していくとの回答がありました。防災費では、防災行政無線の基地局の整備状況について質疑があり、執行部より、26年

度には、各施設の所管課とも協議をし、公平性の確保と市民サービスの向上という観点から研究していくとの回答がありました。



▲現在は休憩室兼会議室となっている地下食堂スペース

度に防災行政無線の音達調査を行った結果、14カ所の増設が必要と判明したことから、26年度は3カ所増設し、今後も毎年3カ所ずつ増設していきたいとの説明がありました。

文教・建設

都市整備部
教育委員会

老朽化する前の点検を徹底し

事故の未然防止を

【26年度決算】

土木費の道路新設改良費では、橋りょうの老朽化等について質疑があり、執行部から、老朽化が進行する前に修繕を行い、長寿命化を図ることが基本方針であり、今後も定期的な点検を行うとの回答がありました。それに対し、事故が発生しないよう、点検を十分に実施してもらいたいとの意見がありました。消防費の防災費で

は、耐震診断の実績について、26年度は前年度と比較し件数が減少しているとの、周知徹底を図ってもらいたいとの意見があり、執行部から、市役所でパネル展示を行い、新聞にも掲載された。今後さらなる周知に努めたいとの回答がありました。

アンケート調査では、自己申告ではあるものの「授業がわからない」と回答する児童生徒が数人いるので、該当者には個別指導等による対応を行い、手厚く学習を進めたいとの回答がありました。郷土博物館費では、26年度に実施された30周年記念特別展の入場者数が少なかったことについて、今後来場者を増やす方策を検討してもらいたいとの意見がありました。



▶ 震災対策品やマンシヨンの展示の様子

健康福祉

福祉部・子ども青少年部
福祉事務所
市民医療センター

障害者サービスの向上に

つながる適正な負担金支出を

【26年度決算】

社会福祉総務費では、ホームレス相談事業の質疑があり、執行部から、臨時職員2人が市内各所を巡回して、定期的な見守り活動などを積極的に行っているとの回答がありました。

た。委員からは、公園内のホームレスについての相談事例を挙げ、利用者にとって良好な環境を整備する対策を求める意見がありました。執行部からは、さまざまな公園利用者がいる中で、ホームレスの相談に乗りながら、自立を支援することなどで、環境の改善につなげていきたいとの回答がありました。

した運営のバックアップ、改善を図りたいとの回答に対して、委員から、各事業者を公平

に取り扱い、競争を促し、サービスの質の向上につなげてほしいとの要望がありました。

市民生活

市民生活部・環境経済部
消防本部
上下水道部

公園遊具に

死角ができないよう検討を

【26年度決算】

防犯対策費では、安全ステーションの勤務員と町会・自治会が交流する機会について検討してほしいとの意見があり、執行部から、出前講座や町会・自治会の集会へ参加する機会を増やしたいとの回答がありました。

公園費では、市内の公園遊具には、人が隠れることができる遊具もあり、周りから見ると死角になってしまうことから、遊具入れ替えの際は、死角ができないよう検討してほしいとの意見がありました。

【指定管理者の指定

(自転車駐車場)】

産業立地推進事業補助金の補助対象となる事業者が減少している点について、企業が制度を活用し元気になってもらえよう、制度のPRをしてほしいとの意見がありました。

指定管理期間中は利用料金変更は行わないのかとの質疑があり、執行部から、近隣等の状況や社会情勢を考慮し、年度協定の中で見直しを考えていきたいとの回答がありました。



▶ 遊具を設置する場所や向きによっては、公園に死角ができてしまいます

主な議案

監査報告

委員会
の審査から

一般質問

委員会
視察レポート

一般質問

平成 27 年 6 月 29 日撮影

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、13人の議員が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。

なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート



とどろきたい



国保制度大改正

制度の広域化に向けた対応は

「情報を収集し、慎重に準備する」

遠藤英樹議員

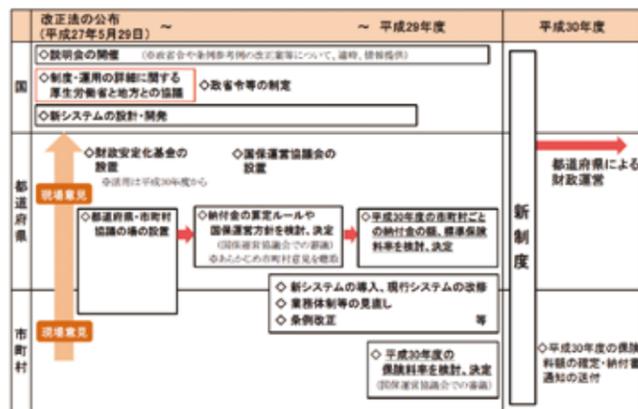


議員 持
続可能な
医療保険
制度を構
築するた
め

の国民健康保険法等の一部を改正する法律が今年5月に成立した。これにより、平成30年度から都道府県が国保の財政運営の責任主体となり、安定的な運営や効率的な事業の確保に中心となる。一方、市町村は引き続き資格管理や保険料の賦課・徴収等を実施することとなるが、本市の取り組みについて伺う。

①平成30年度において市町村は、資格管理や保険料の賦課等の業務のどの部分を実施するか②本市における今後の進め方について

福祉部長 ①県が決定した国保事業納付金を県に納付すること。県の示す標準保険料率を参考に、市町村ごとの保険料算定方式や、予定収納率等に基づき、保険料率を定め、保険料を賦課・徴収すること。被保険者証発行等の資格管理、医療費の支払い、加入者の健康増進事業の実施など、地域のきめ細かな保険運営業務の3つを行う②広域化



▲国民健康保険新制度の施行に向けた主な流れ(イメージ)
(出典:厚生労働省保健局資料)

【請願の結果】
不採択(2件)
(いずれも3対20)

賛成討論
花井伸子 議員

市が行っている受益者負担見直し方針では、土地取得費用以外の施設の管理運営にかかる経費の全てを対象に受益者負担の範囲として料金を算出することとしている。今後の公共施設の施設使用料・利用料の設定においては、市民の声を十分反映するとともに、公共施設としての目的をしっかりと果たすことのできる料金設定となるよう要望し、賛成討論とする。

市民が利用しやすい公共施設の料金設定を求める請願

意見書(議員提出議案)を政府に提出

◇ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書

都市住民の農山漁村への定住願望が大きく上昇している。企業や雇用の地方への流れを促進し地方再生を実現するため、どこにいても、いつも同じ仕事ができる「ふるさとテレワーク」を一層促進し、観光など地方への訪問者増加につなげることでできる高速情報通信回線網の充実、中でもWi-Fi環境の整備が必要になる。そのため活用可能な補助金や交付金を拡充し、公衆無線LAN環境の整備促進を図ることなど、3点を国に要望するものです。

戸田市議会懇談会実施要綱を制定
議会改革特別委員長報告

「クラウド型会議システム」

議会改革特別委員会では、実際に議会への導入実績のあるシステムについて委員会で研さんるべきであるとの結論に至り、「クラウド型会議システム研修会」を開催し、システム業者から、利用方法、導入した議会における感想や、メリット・デメリットなどについて説明を受けました。今後も議会のICT化について、他の自治体事例などを参考としながら、調査・研究を進めることとしました。

「戸田市議会懇談会実施要綱」

平成24年2月6日に議会基本条例を制定して以降、議会改革特別委員会において、条例を生きた内容とすべく、その運用方法などにつ

いて検討を重ねており、その中で、「議会報告会」に関して議論を重ねたところがあります。しかし、議会報告会を実施している議会の大半は市域の広い自治体であり、市域の狭い本市において、その実施について議論の余地があるものの、議会モニター制度や委員会活動の充実を優先的に図っていくべきであるとの結論に至りました。さらに、議会報告会から、議会と市民との意見交換会に方向転換している議会も多いことから、「議会報告会」ではなく、これまで常任委員会において、市民等との意見交換を実施した事例があったことから、「議会懇談会」について、要綱化すべきであると結論に至り、「戸田市議会懇談会実施要綱」を制定いたしました。

議場からの避難訓練を実施
震度6弱の大地震を想定

本会議中に震度6弱の地震(東京湾北部地震)が発生したことを想定し、議場からの避難訓練を行いました。本会議終了後、議員の発言中に緊急地震速報のチャイム音を鳴らし、議長が「安全の確保」を指示。それに従い、ヘルメットの装着や机の下に潜るなど、安全の確保を行いました。その後、議長から

避難が指示され、議員、執行部職員等は非常階段で階下へ避難し、避難状況を議長に報告し、訓練は終了しました。

【検証の結果】

今後は、水害時の対応や図上訓練等も検討し、災害発生時の議会の対応について、調査・研究を進めます。

*クラウド型会議システム…会議等で利用する資料や画像などを、インターネット上に保管し共有するシステム。インターネットに接続されたパソコンやタブレット端末等があれば、いつでもどこでも資料等をダウンロードし、会議等に利用することができる。

主な議案

監査報告

請願の結果

一般質問

委員会視察レポート



一般質問

主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

景観整備

キョウチクトウの高さをそろえた剪定を「県を交えて協議・要望する」

本田哲 議員

議員 本田 哲
ストコー
ス北側の
キョウチ
クトウの
高さをそろえた剪定を
県と協議できないか。
環境経済部長 県を交
えて協議・要望する。
移動支援事業の
見直しはやめよ
議員 来年度から障が
い者福祉サービスの「移



視界を遮るキョウチクトウは、高さをそろえた剪定を。
動支援事業」の内容が大幅に変更されようとしている。利用者からは「必要なサービスが受けられなくなる」、事業者からは「土日・祝日などの休日の長時間の受け入れが難しくなる」等の声が上がっているが、内容変更の問題はないのか。
福祉部長 今回の改正ポイントは主に3点である。①支給決定時間を原則50時間（上限）

とする②サービス単価を法定サービスの「通院等介助」に合わせる③移動支援事業ガイドラインを策定する。
議員 ①50時間以上、利用してはならないというような誤解を招かぬよう柔軟な対応を望む②目的の異なる「通院等介助」の単価では、長時間サービスを提供すればするほど報酬単価が減るため人材確保が難しくなり、サービ
と提供が難しくなるとする事業者もいる。サービス単価を「通院等介助」に合わせることは「移動支援事業」の制度維持にはならず制度を後退させる。サービス単価の変更はやめるべきである。
福祉部長 利用者の状況に応じた柔軟な対応を行っていく。他の法定サービスの利用を勧める等、適正に行う。

防災対策

災害時の避難生活に「段ボールベッドの活用を」

「災害協定締結を検討する」

三輪なお子 議員
湾北部地震」を市域に最も被害を及ぼす地震と定め、地震発生から1日後の避難者数を8939人、1週間後の避難者数を1万345人。指定避難所で避難生活を送る避難者の

議員 ①災害時の想定避難者数②主に寝具関連の備品について何っ。
議員 ①「東京

湾北部地震」を市域に最も被害を及ぼす地震と定め、地震発生から1日後の避難者数を8939人、1週間後の避難者数を1万345人。指定避難所で避難生活を送る避難者の

みの人数は5千人と想定②毛布約5500枚、緊急用寝袋約2100袋、8畳分の間仕切りセット290セット。トイレは、ボックストイレやスベア便袋を利用することで、総計約65万回分を確保。
議員 避難生活は長期間、床で就寝し続ける等、身体的負担が大きく、エコノミー症候群を発症しやすい。また、ちりやほこりを吸い込



むことにより、風邪やぜんそくを起しやすくなる。予防対策として段ボールベッドを活用してはどうか。
危機管理監 災害時における段ボールの供給を目的とした災害協定締結について検討を進める。
議員 シルバー人材センターに苦情窓口を

福祉部長 窓口の設置に着手しているところ。苦情に対しては真摯に対応し、接遇の向上に努め、市民や会員の信頼を高めていくよう働きかけていく。
議員 戸田市医師会以外の病院での治療費は、一度窓口で支払い「償還払い」となっている。医師会圏外の病院での治療費も窓口払いをなくせないか。

公共施設

誰もが利用しやすい施設整備を「早期にルール化を進める」

花井伸子 議員

議員 ノーマライゼーションの理念に基づき、誰もが利用しやすい公共施設整備が求められている。市として①恒常的に取り組まれているものは②障がい者の声をどのように反映させているか。
財務部長 一般的な法令や設計の適用基準、環境・福祉法令等の基

準に基づき、施設所管課を中心に設計業者と調整しながら進めている。
福祉部長 障がい者の声を聴取する統一したルールはない。施設整備の所管課が、市民を交えた関係者会議などで適宜協議し、決定している。
議員 計画・設計段階から障がい者を入れるべき。



子ども医療費窓口払い、圏外病院もなくせ
議員 戸田市医師会以外の病院での治療費は、一度窓口で支払い「償還払い」となっている。医師会圏外の病院での治療費も窓口払いをなくせないか。
議員 市として医師会との調整を行い、まず、近隣の川口市、さいたま市での窓口払いがなくなるよう要望する。
子ども青少年部長 埼玉県国保連合会、社保診療報酬支払基金埼玉支部への事務委託に伴う業務委託内容の調整と、手数料等の財政負担など課題が多く、戸田市外での現物給付の実施は、現状、困難である。
議員 市として医師会との調整を行い、まず、近隣の川口市、さいたま市での窓口払いがなくなるよう要望する。

広告収入

他自治体の取り組みを調べ、積極的に導入を

「有効なものから推進する」

金野桃子 議員
先進例も調べ、積極的に進めるべきでは。
財務部長 各課で有効なものから推進する。総額は把握していない。担当者の配置は難しい。

議員 ①ネーミングライツの取り組みを②現在、戸田市は屋外広告物条例で公共施設や公有地等での広告は禁止されているが、県や全国で改正の動きがある。市の考えは③毎年約1億円の税金で補填しているtocoバスで広告収入強化を。
財務部長 ①今年度末までにネーミングライツの要綱を示す。
都市整備部長 ②県や



他市と調整し、検討する。
市民生活部長 ③慎重な検討が必要。
新こどもの国
議員 ①6月議会で閉鎖中の学童保育室の活用を求めたが、進展は②軽体育室に乳幼児向け遊具を③多目的室を中高生の勉強場所に。
子ども青少年部長 ①夏休みに入室要件を緩

その他の質問
Q ①市のゆるキャラのLINEスタンプを②オリジナル婚姻届等を。
A ①導入に向け検討。②方法を研究する。

議員 戸田市は他市に比べて広告収入を得る取り組みが遅れている。指針を示し、総額を把握し、担当者を置き、

先進例も調べ、積極的に進めるべきでは。
財務部長 各課で有効なものから推進する。総額は把握していない。担当者の配置は難しい。

議員 ①ネーミングライツの取り組みを②現在、戸田市は屋外広告物条例で公共施設や公有地等での広告は禁止されているが、県や全国で改正の動きがある。市の考えは③毎年約1億円の税金で補填しているtocoバスで広告収入強化を。
財務部長 ①今年度末までにネーミングライツの要綱を示す。
都市整備部長 ②県や

他市と調整し、検討する。
市民生活部長 ③慎重な検討が必要。
新こどもの国
議員 ①6月議会で閉鎖中の学童保育室の活用を求めたが、進展は②軽体育室に乳幼児向け遊具を③多目的室を中高生の勉強場所に。
子ども青少年部長 ①夏休みに入室要件を緩

子ども青少年部長 ①夏休みに入室要件を緩
泉佐野市役所広告入り庁舎・地図案内板（年間約75万円の歳入見込み）

その他の質問
Q ①市のゆるキャラのLINEスタンプを②オリジナル婚姻届等を。
A ①導入に向け検討。②方法を研究する。

※ ①ネーミングライツ…施設やイベントなどに対する命名権。
※ ②LINE（ライン）…スマートフォンの無料通信アプリ。

議員「スポーツセンターの屋内プールが、対応が遅い。水泳教室の運営者や水泳愛好者から早期復興の要請がある。」

①屋内プールの改修は条件的に難しい。屋内プールと屋外プールを一体として、プール棟を建設し、早期に利用



議員「スポーツセンターの屋内プールが、対応が遅い。水泳教室の運営者や水泳愛好者から早期復興の要請がある。」

できるよう対応すべき。スポーツセンター全体の改修とプールの改修は、分けて考えるべき②屋内プールの場所は、トレーニングや球技場に改修できないか。



▲戸田市スポーツセンター屋外プール

屋内・屋外プールを一体でプール棟の建設を「検討委員会の中で検討する」

高橋 秀樹 議員

スポーツセンター

市民生活部長 ①市民の意見も聞いて、来年3月にスポーツセンターの整備方針を決定したい。スポーツセンターの改修とプール棟建設などの整備方針については、検討委員会の中で検討したい②現在の屋内プールの場所をどうするかは、議員の意見も参考に、検討委員会の中で検討したい。

保健所の誘致を県に要請を

議員 平成30年に川口

市が中核市に昇格する。それに伴い川口市が保健所を設置・運営することになる。蕨市とともに県へ保健所の誘致を要請できないか。

福祉部長 現在は県の川口保健所が3市を管轄し、感染症、医療薬事、食品衛生等、多岐にわたり地域住民の健康増進に重要な役割を担っている。今後川口市と埼玉県の協議が進められるので、現在の川口保健所の活用も含め、県に要請したい。

一般質問

18歳選挙権

若者への投票率向上策は「投票行動につながる対策を講じる」



議員 来年夏の参院選から18歳選挙権が行使

され、若い世代の声が、より政治に反映される。初投票と同時に選挙運動や政治活動も可となり、若者への主権者教育の重視と、投票行動につながる積極的な働きかけが必要と考える。①高校生への主権者教育は②若者への投票率向上策は③国は種々の投票率向上策を検討しているが、市はどう捉え検討を進めているか。

校に配布する②18歳パスデーカードの送付や選挙の立会人を募集するなど、投票行動につながる対策を講じていく③投票率向上に寄与するものと、難しい課題もあり、改正法があった場合、検討を重ねる。

手塚 静枝 議員

その他の質問

Q 南西循環に早瀬公園とさくらパールのバス増設を。
A 協議し検討する。

▲学生支援スタッフ「選挙コンシェルジュ」による広報活動（松山市選挙管理委員会ホームページより）



マイナンバー

セキュリティ対策は

「継続的に対策を行っていく」

竹内 正明 議員



議員 マインバ法的の施行が開始される。

10月から通知カードの送付、来年1月から運用開始となるが、「よくわからない」「不安」との市民の声が多い。周知について伺う。

総務部長 制度内容と安全性の理解のため、市ホームページや広報等さまざまな周知活動を行っている。4月から出前講座を新設し町会・自治会等へDVDなどを利用した説明会を実施し好評であった。庁内連携を図りさらに周知に努めていく。

議員 国ではコールセンターを開設しているが、直接市役所への問い合わせも予想される。

戸田公園駅西口の照明が暗い

議員 戸田公園駅西口の照明が暗いとの意見がある。改善可能か。

都市整備部長 LED化や東日本震災後から消灯している照明灯の復旧など、省電力対策とともに検討していく。

し、窓口及び電話での相談業務に対応する。

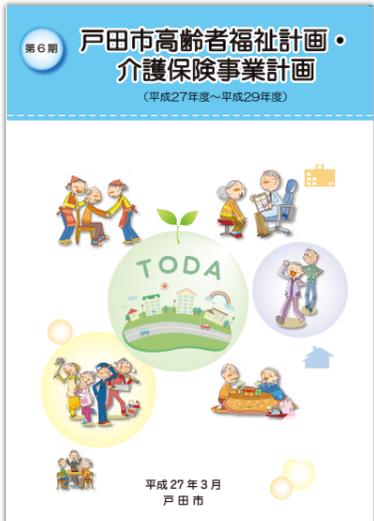
議員 セキュリティ対策について伺う。

総務部長 これまでもウイルス対策など適切な対応を行い、情報漏えい等の重大事故は発生していない。また7月、8月で全職員を対象に緊急研修会を実施した。システムについても施行開始までにインターネットから切り離す等、継続的に対策を行う。



議員 第6期介護保険事業計画では、平成37年

までに、高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活ができるよう、医療、介護、介護予防、住まい及び生活支援が包括的に確保される体制の「地域包括ケアシステム」の構築を義務づけている。本市の構築の手順は。



▲第6期戸田市高齢者福祉計画・介護保険事業計画

福祉部長 3つの地域包括支援センターと戸田市が、必要なサービスの種類や量を協議して、医師会や歯科医師会、社会福祉協議会、シルバー人材センターなどの団体とも協議を行いながら進める。

詳細は決定していない。サービス主体は、社協やシルバー人材センター、NPO法人、ボランティア団体などである。

後期高齢者も国保の保養所の利用を

議員 介護保険法の「改正」により、要支援1・2の通所介護・訪問介護サービスが、全国一律のサービスから市独自のサービス「総合事業」に28年4月から移行するが、サービスメニューと事業主体は。

議員 75歳以上が後期高齢者保険に移行したために国保の保養所が利用できなくなっている。蕨市、朝霞市のよう利用できないか。

福祉部長 現在、地域包括支援センター等の関係団体と協議中で、

福祉部長 人間ドック、脳ドックなどの支援もある。受給と負担のバランスを考慮して、慎重に検討する。



▶マイナンバーの広報用ロゴマーク「マイナちゃん」（内閣府提供）

総務部長 専用窓口を新設



主な議案

監査報告

委員会の審査から

一般質問

委員会視察レポート

新たな目標に向けての対応は 「事例などを参考に利用率上昇を目指す」 石川 清明 議員

議員 ジェネリック医薬品の新たな数量シェアが定められたが、戸田市において目標に向けての対応と課題について伺う。

薬品希望シールが好評で、これを保険証やお薬手帳に貼ることによって、ジェネリック医薬品の希望を伝えやすくなったという声もあり、平成26年度以降、大きく利用率も上昇した。引き続き、差額通知事業や希望シールの配布、啓発活動により、被保険者へ積極的にジェネリック医薬品を推奨し、目標達成を目指していく。また、ジェネリック医薬品推進に向



けての体制は整備されてきているが、最終的には、処方する医師の判断、考え方に委ねられるため、保険者としては加入者に対しての啓発や勧奨にとどまるという限界もある。

議員 奈良県生駒市で実施しているジェネリック医薬品推奨薬局認定制度を戸田市でも実施してみてもどうか。

福祉部長 市がジェネリック医薬品の取り扱いは、最終的に、処方する医師の判断、考え方に委ねられるため、保険者としては加入者に対しての啓発や勧奨にとどまるという限界もある。

コンビニでの販売と価格の見直しを行っては

議員 利便性向上のために粗大ごみ券をコンビニで販売してはどうか。また、粗大ごみ事業の赤字額は大きい



議員 環境経済部長 近隣市と比べて低廉な価格であり、見直しが必要である。その中で、粗大ごみ券のコンビニ販売の導入も検討する。

議員 給食費に関する支援体制は整っており、未納の多くは意図的なものである。未納者に対する法的措置の考えは。

議員 給食費に関する支援体制は整っており、未納の多くは意図的なものである。未納者に対する法的措置の考えは。

議員 本年オープンし、今年度約15億円を投じて建て替えがなされた市民医療センター。その維持には毎年2億円以上の税金が投じられている。

新法による重点的かつ一体的な整備構想は「整備が進んだ時点で検討をする」 中山 祐介 議員

議員 施設や建設物のバリアフリー化は、個々の整備だけでなく、重点的かつ一体的な整備構想を持って進めるべきである。バリアフリー新法による具体的な整備構想はあるか。



議員 旧法における研究成果は政策にどう生かされているのか。

議員 基本構想を定め、面的な整備は

議員 基本構想を定め、面的な整備は

市民医療センター 収支改善と質向上を 目指し提案する 「提案の実施は困難」 酒井 郁郎 議員

議員 市民医療センターは、長年にわたり地域の医療供給を担う一利用者からもご意見多数。課題山積！

議員 方、財政負担が生じている。平成23年に「市民医療センター経営改革プラン」を作成したが、収支改善は進んでおら

議員 不足その他の原因による医療機能の低下も見られる。そこで、収支改善と質向上の両立を目指し、次の提案をさせていただく。

議員 条件を再検討すること③病院プロパー職員の採用によるスキル

議員 策(アクションプラン)への落とし込みと実績の検証。これらの1年

議員 策(アクションプラン)への落とし込みと実績の検証。これらの1年

議員 策(アクションプラン)への落とし込みと実績の検証。これらの1年

議会モニター募集

本会議や委員会を傍聴したり、議会だよりや議会ホームページをご覧いただき、意見や提言の提出などをしていただきます。

【応募資格】次の①②の要件を満たしている方
①18歳以上の市内在住・在勤・在学している方(ただし、公務員は除く)
②議会の仕組みとその運営、市政や地域社会の発展に関心のある方

【募集人数】 15人以内

【任 期】 平成28年2月6日から1年間
※報酬なし(図書カード進呈)

【募集締切】 平成27年11月1日(日)～
平成28年1月20日(水)

【申し込み】 「応募票」に住所、氏名、年齢、性別、職業、応募理由、自己アピール等を記入して、議会事務局へ直接持参、郵送、FAX、電子メールで応募してください。応募票は議会事務局で配布しています。ホームページからダウンロードもできます。
※議会事務局の住所、FAX、電子メール、ホームページは、20ページの欄外をご覧ください。

【選考方法】 書類選考の上、決定し、結果は応募者全員へ通知します。

「題字を書いた人」の訂正

前号(議会だよりNo.187)の裏表紙に掲載いたしました「題字を書いた人」のうち、題字「とだ」について、以前掲載した題字を掲載してしまいました。題字を書いていただいた橋本隼さんをはじめ関係者の皆様にご迷惑をおかけいたしましたこととお詫びするとともに、下記のとおり訂正させていただきます。

No.187 題字

とだ



「と」を書くのが難しく、何度も書き直しました。納得のいく作品ができて、とても良かったです。

美笹中学校 3年 はしもと しゅん 橋本 隼さん

第24回全国市町村交流レガッタ津幡大会

議員クルーがボートのまち戸田をアピール!

9月26日、27日の2日間、石川県津幡漕艇競技場で、26市町村が参加して、第24回全国市町村交流レガッタ津幡大会が開催され、戸田市議会からは2クルーが、市民6クルーとともに参加しました。

議員クルーは、残念ながら予選敗退となりましたが、来年の市制施行50周年「第25回全国市町村交流レガッタ戸田大会」に向けた参加を、大いにアピールしました。



▲健闘及ばず予選敗退

美里町議会との親睦を深めた交流会

議員互助会では、7月23日、姉妹都市である美里町との議員交流会を戸田市で開催しました。
時折、小雨の降る中、児童センター「こどもの国」、消防本部「高機能消防指令センター」1「戸田競艇の視察と、意見交換会を行いました」。



▲こどもの国を視察する両市町議会議員

委員会視察レポート

閉会中に実施した視察について、8月28日の本会議冒頭に各委員長から報告がありました。その概要は次のとおりです。

交通対策特別委員会

富山県魚津市／富山県射水市

利便性、安全性、安心感の高い市民バスの運行

魚津市は、市民バスを、地域住民が立ち上



▲7月9日 射水市役所にて

げたNPO法人による運行管理やバスサポート制度などにより、地域に根差した公共交通事業を行っており、安心・安全な市民バスをルートや運行本数を減らさず、永続的に運行していくための取り組みを行っています。射水市は、民間バス路線が廃止された地域に市民バスとデマンドタクシーを走らせ、公共交通を確保しつつ、バスロケーションシステムやモーニング快速の導入などにより、利便性の向上に取り組んでいました。

【検証の結果】バスサポート制度など地域との一体感を醸成し、新たな利用者やバスロケーションシステムなどは、本市でも、さらなる改良・発展に取り組むことができるのでは、といった意見が出されました。

議会改革特別委員会

大阪府茨木市／滋賀県大津市

大学との連携や議会のICT化等により、議会改革を推進

茨木市議会では、大学と議会で「地域人材育成にかかる相互協力に関する協定書」を締結し、大学の准教授と議会による議会改革についての意見交換や、

議員の大学院修士課程への推薦入学などを実施してまいりました。大津市議会では、大規模地震などの非常時に議会や議員が行うべき役割等を定めた議会

【検証の結果】大学と議会との連携については、教授個人民間業者、大学のゼミ生との意見交換など手法を含めて、再度議論することとなりました。議会のICT化については、議会への導入実績がある業者から説明を受け、さらに調

BCPの策定や、クラウドシステムやグループウェア機能を導入し、議会のICT化に取り組むなど、様々な議会改革を進めていました。

査・研究を進めることとなりました。



▲7月9日 大津市議会にて

知っtocoクイズ当選者

6月定例会号「知っtocoクイズ(No.3)」の正解は、問1「年間」、問2「レーン」でした。

正解者14人の中から抽選の結果、次の方にクオカードを贈りました。

- ・稲村羽菜さん ・吉見 彩さん
- ・島田勝美さん ・加藤ゆずきさん
- ・日向俊洋さん

議会日誌

7月

- 1日 福岡県大牟田市議会視察来庁／文教・建設委員会視察
- 3日 議会運営委員会
- 6日 戸田競艇組合議会周辺対策特別委員会
- 7日 愛知県稲沢市議会視察来庁／兵庫県三木市議会視察来庁
- 8日～9日 交通対策特別委員会視察／議会改革特別委員会視察
- 10日 県議長役員会
- 13日 議会広報委員会／議会運営委員会／議会改革特別委員会
- 15日 兵庫県加西市議会視察来庁
- 17日 健康福祉委員会（学童保育の現状に関する意見交換会）／健康福祉委員会
- 21日 総務委員会
- 22日 議会広報委員会／文教・建設委員会／健康福祉委員会／市民生活委員会
- 23日 美里町議会との友好交流事業
- 27日 戸田市子ども議会
- 30日 京都府京田辺市議会視察来庁／埼玉県川口市議会視察来庁

8月

- 3日 栃木県栃木市議会視察来庁／議会モニターとの意見交換会
- 4日 千葉県松戸市議会視察来庁
- 5日 県南都市問題協議会正副会長会議・役員会／滋賀県米原市議会視察来庁
- 12日 福井県福井市議会視察来庁／埼玉県越谷市議会視察来庁
- 19日 蕨戸田衛生センター議会議会運営委員会／議会改革特別委員会
- 21日 交通対策特別委員会／議会運営委員会／常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 24日 県南都市問題協議会総会・研修会
- 25日 戸田競艇組合議会議会運営委員会／蕨戸田衛生センター議会
- 27日 戸田競艇組合議会
- 28日 総務委員会／本会議（議案説明）／議会運営委員会

9月

- 4日 議会運営委員会
- 7日 本会議（議案質疑）／議場避難訓練／委員長会議／議会運営委員会／議会広報委員会
- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）／健康福祉委員会
- 10日 本会議（一般質問）／議会運営委員会
- 14日～16日 常任委員会（総務／文教・建設／健康福祉／市民生活）
- 17日 常任委員会（総務／市民生活）
- 18日 特別委員会（交通対策／議会改革）／議会運営委員会
- 26日～27日 第24回全国市町村交流レガッタ津幡大会
- 29日 総務委員会／本会議（委員長報告、討論、採決等）／議会広報委員会

（掲載した写真を差し上げます。詳しくは議会事務局まで）
本紙は環境に配慮し、再生紙と「大豆油インキ」を使用しています。

題字を書してくれた人



「とだ」を書くとき、大きさやバランスが難しく、何枚も書きました。その中で、良い作品ができたので、とてもうれしいです。

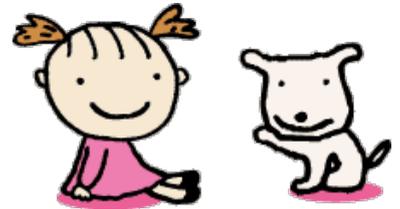
笹目小学校 6年 せき ゆみこ 席 由美子さん

12月定例会の予定

※日程は変更になる場合があります。

- 11月24日(火) 本会議（議案説明）
- 12月1日(火) 本会議（質疑）
- 2日(水) } 本会議（一般質問）
- 3日(木) }
- 4日(金) }
- 7日(月) }
- 8日(火) 常任委員会
- 9日(水) 特別委員会
- 15日(木) 本会議（討論・採決）

気軽に市役所へ傍聴においでください。



も う10月になりましたが、わが家のゴージャスは、8月の初めから、いまだに毎日、真黄色な小さい花を7〜8個咲かせ、実もつけてくれます。よく見ていると、小さなチヨウが2〜3匹飛んできて、蜜を吸っています。どこから飛んできてくるかわかりませんが、自然の仕組みに改めて驚きました。（望）

孫、かわいいですね。小学校2年生の男の子。もうとくにライバルですが、負けることの多いこと。特にチャンネル争いは絶対に負ける。食欲、元気が、声の大きさを、1丁までも、全て負ける。もうライバルではないのかも……（良）

今 年もあと2カ月で終わり。年初めに誓っていたことは、どれくらいできただろうか？残りの2カ月ですべて達成できるだろうか？どうあがいても残り2カ月。流れに身を任せ、新しい年を迎えよう。（本）

2 015年も残りあとわずかである。文化・芸能・政治・経済・医療・科学など、いろいろな出来事がありました。さて、今年の重大ニュースは何ですか？私は京都・清水寺にて発表される今年の世相の1文字が何か気になる……。（細）

ほっとフータ
長 く続けていた目標が、秋のお彼岸を境に途切れてしまい、とつても残念です。庭の片づけの時、少し無理な姿勢で物を持った瞬間、腰を痛めてしまい、いまだに神経が病んでいきます。今後、日常の健康に気を付けて、歩行目標1万歩復活を目指すぞ！（民）